

# Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



西脇市美術協会の藤原廣幸さんが指導する「高田井町こども絵画教室」に約60人の子もたちが参加し、思い思いの絵を描きました（8月6日、高田井町体育館）



市民を対象に市内8地区で「人権文化をすすめる市民運動推進強調月間講演会」が開催され、講演会やコンサートが行われました（8月8日～29日、西脇市内）



「シティブロモーション推進事業」が始まり、良好な都市イメージの形成に向けて、本市を中心に活躍する若手の方々によるワークショップを開催（8月19日、茜が丘複合施設みらいえ）



市役所2階の郷土作家ギャラリーで西脇市美術協会「彫塑・工芸部」展を開催。作品15点を展示（9月30日まで、西脇市役所2階）

## にしわき市・黒田庄夏まつり

〔8月16日 黒田庄グラウンド〕



矢倉を囲んで盆踊りを披露する参加者たち

第39回「にしわき市・黒田庄夏まつり」が黒田庄グラウンドで開催され、会場中央に組まれた矢倉を囲んで、参加者による踊りの輪が広がりました。途中、悪天候に見舞われ踊りは一時中断されましたが、まつりを締めくくる約400発の花火が夜空に大輪の花を咲かせました。

## 国道175号「命の道」に新たな防災拠点

〔8月21日 寺内〕



起工式での鍬入れの様子

西脇消防署西脇出張所および西脇市コミュニティ消防センター（いずれも仮称）の起工式を行いました。24時間体制の出張所を整備し、市北東部における救急・火災などの警防体制の充実強化を図ります。建設場所は道の駅北はりまエコミュージアム東側近接地で、平成29年4月開設を予定しています。

## カラフルなパーツつなぎ合わせ 巨大キルト緞帳づくり

〔8月4日・5日 西脇北高校〕



ボランティアおよそ100人も参加した作業の様子

西脇北高校では来年の創立50周年に向け、播州織を使った体育館の緞帳づくりが進められています。延べ1000人以上のボランティアから15000枚の緞帳パーツが寄せられ、2日間かけてつなぎ合わせました。今後は、綿を入れたり裏地を施したりして完成させ、創立50周年式典でお披露目されます。



西脇市出身の谷本知事による議場開放講演

西脇市議会の議場を開放し、西脇市出身で石川県知事の谷本正憲氏による講演会を開催しました。市議会では、親しみのある議会を目指し、平成24年から毎年、市民に議場を開放し講演会を開催しています。

「地域資源の磨きあげによる地域の活性化」北陸新幹線開業効果の最大化」と題した講演会では、輪島塗や加賀友禅など石川県の観光資源の歴史を紹介。ほかにはない石川県ならではの食文化の提供や美術館のような演出をした金沢駅の活用法についても話されました。

また、西脇市の地域資源として播州織や黒田庄和牛を挙げ、西脇市が今後、都市間競争で少しでもリードしていくためのまちづくり視点や西脇市出身だからこそ感じられる力を注ぐべきポイントなどについて語られました。

石川県知事が地元西脇で議場開放講演会  
〔8月10日 西脇市議会〕



優勝に笑顔も輝く選手ら

「第29回兵庫県ジュニア軟式野球選手権大会」で、西脇野球スポーツ少年団が18年ぶり3度目の優勝に輝きました。北播代表として「一戦必勝」で臨んだ今大会では、一試合ごとに団結力を高めて頂点にたどり着きました。大会最優秀選手賞（MVP）には、3本塁打を放ってチームを引っ張った主将の本坊匠選手が選ばれました。

18年ぶりに県大会優勝  
7月31日 神戸市



見慣れない手術器具に関心を持つ子どもたち

今年で第8回目となる「病院フェスタ」が西脇病院で開催されました。今回のテーマは「心と心をつなぐ」災害医療と地域医療」。普段入ることができない手術室やヘリポートなどを巡る院内探検ツアーが行われたほか、協力団体による屋台村コーナーは大盛況でした。また、被災者支援を目的とした西脇ライオンズクラブと西脇市多可郡医師会によるバザーも行われました。

病院フェスタを開催  
7月23日 西脇病院

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！